

食べて応援！ 北海道のホタテ



現在、北海道各地の水産加工業者は、水産物を輸出できないことが続き、大変深刻な影響を受けています。今回、北海道南西部にある渡島半島のほぼ中心に位置する八雲町が、町内水産加工業者を支援するために、全国の子供たちに北海道産のホタテを提供されています。千束小学校もこの取組に参加し、普段なかなか提供する機会がないホタテを味わってもらい、さらに北海道の現状やホタテについて知ってもらう場としました。



ホタテときのこのバター醤油焼きにしました！

弾力があって
おいしい！
たれとホタテが
よく合う！



調理員さんが、どうやったらよりおいしく子供たちに食べてもらえるか考えてくださり、

- ① ホタテを蒸す。
- ② カップにきのこのバター醤油炒めを入れる。
- ③ ホタテをカップに入れる。
- ④ 別で作ったバター醤油のたれをかける。
- ⑤ オープンで焼く。

という、手間のかかる工程で作ってくださりました。

おかげで、とてもおいしいバター醤油焼きになりました◎



給食時には、今回のホタテが提供されることになった経緯や、ホタテの貝柱についてのクイズ、ホタテが泳ぐ様子などを紹介しました。

見つけた！ レアな色ちがい

調理中、調理員さんがあることに気が付きました。「一つだけ、他と色がちがうオレンジ色のホタテがある！」調べてみると、この色はエサ由来で、オレンジ色のプランクトンを食べたことによるものとか…。(食べても害はありません)

とっても珍しいホタテということで、ラッキーにんじんデーのように誰のところに行くか、子供たちにわくわくした気持ちを味わってもらいたいと思い、食育動画でも紹介しました。

次回もこのオレンジ色のホタテに巡り合えますように…！



今回は1年生に色ちがいのホタテが当たりました！
気になる子供たちに、笠木先生が投影機で見せてくれました。

4年ぶり！ランチルーム給食



4年ぶりに、ランチルームを活用して会食する機会を設けました。今回は学級ごとで集まり、ゲストの先生をお招きして給食時間を過ごしました。

友達とおしゃべりしながら食べることを楽しむだけでなく、みんなで気持ちよく食事ができるようにマナーを守って食べることも意識するように栄養教諭からお話をしました。



好きな給食の話、仲良しの友達の話、習い事の話...♪
いろんな話題で盛り上がっていました。

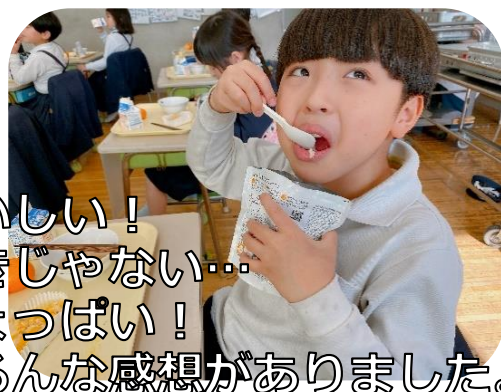


「もしも…」のときに備えて 防災給食



また、社会科で自然災害について学習している4年生は、自分たちで防災食を作る体験もしました。

お湯を入れて15分！
おいしくできたか
どきどき...！



おいしい！
好きじゃない...
しょっぱい！
いろんな感想がありました。

